

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



祝米寿

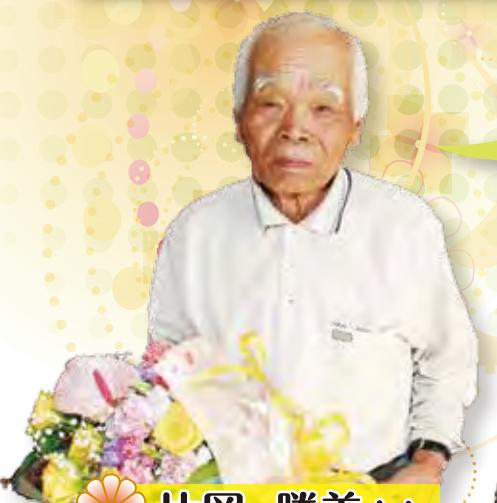
～花束と記念品を贈呈～

※米寿を迎えた皆さんのが生まれた昭和7年は、五・一五事件や桜田門事件などの歴史に残る事件が起こったほか、爆発的人気を博したヨーヨーが発売、喜劇王のJチャップリンが初来日した年でもありました。

開拓時代の感謝の気持ちと
米寿（88歳）を迎えたご長寿
のお祝いが9月15日、当JA
の川上和則組合長から皆さん
に「米寿おめでとうございま
す。これからもお身体に気を
付けて元気にお過ごしください」と
声を掛け、花束と記念
品が贈られました。

米寿を迎えた皆さんには、川
上組合長の来訪を笑顔で出迎
えました。

本町農業の発展にご尽力さ
れ、現在の経営基盤を確立し
ていただきたことに、心より
敬意を表しますとともに、次
の白寿（99歳）を目指して、
元気でお過ごしください。
米寿を迎えた皆さん、また
ご家族の皆さん誠におめでと
うございます。



 片岡 勝美さん

野菜を作りやゲートボルをしていります。ゲートボル歴は21年目!!家族に囲まれ自由に遊ばせてもらえて幸せです。今の状態が落ち着いたら旅行などに行きたいし元気で100歳を目指します!



小野寺正子さん

夫と一緒に週に1回
デイサービスに行き仲間との時間を楽しんでいます。老人クラブなどで忙しいですが、庭の手入れなど今後も頑張ります!



 土田キヨ子さん



松井佐和子さん

畠で野菜を育てています。鍬を持って葉っぱを切つたり…。これから手先を使つ仕事にチャレンジしたいです!



遠藤 美恵さん

野菜を作つたりスポーツをしたりしていま
す。仲間と仲良く遊び色々やつてみたいです。
新しいものにも出来たら挑戦したいです！

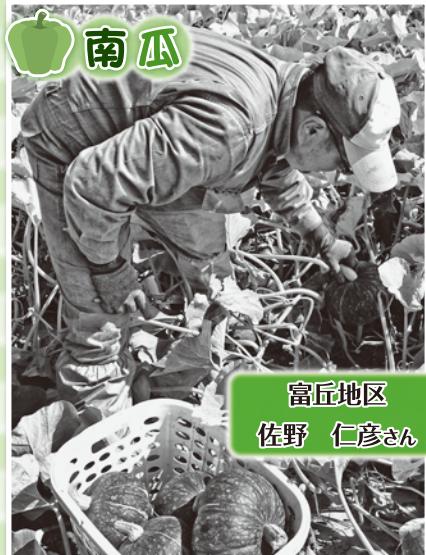


農業 Photo

富丘地区
横山 弘行さん



デントコーン



南瓜

富丘地区
佐野 仁彦さん



土佐地区
川崎 由久さん



馬鈴薯

岐阜地区
林 健志さん(コントラ事業)



意見交換を行う武部衆議院議員、小野寺会長、
川上組合長（左より）

J.Aグループ北海道は2018年に起きた胆振東部地震によつて発生した大規模災害を風化させることなく、予測不能な災害に備えていくため、毎年9月6日を「防災の日」、9月1日から6日を「防災期間」に定めました。

それにもとない、J.Aところ（川上組合長）はの月5日、J.A会議室で「防災取組状況報告会」を行い、武部新衆議

院議員、J.A北海道中央会小野寺俊幸会長が出席しました。報告会では16年の3連続台風、18年の胆振東部地震の災害発生時の防災対策・復旧状況を報告、川上組合長から過去の水害を説明し、「孫の代まで防災の基盤をしっかりとく」ということがJ.Aや常呂町の役割であり、防災の日を設定した意義を組合員と共に有していました。

意見交換ではJ.Aの要望や

対策を聞いた武部衆議院議員が「災害時のJ.Aの役割は非常に重要で、J.Aグループしかできない役割がある」と話していました。

報告会終了後、大規模停電で生乳を破棄した教訓を生かすため停電時でも搾乳作業を維持できる発電機の始動確認のため、現地調査として山浦靖人常呂町酪農振興会長宅で、山浦会長は「月に一度点検を行いまし

予測不能な災害に備え 防災対策点検を!!

「防災の日制定」

検を行つており、これから特に気を付けて災害に備えたい」と話していました。現地調査を終えた小野寺会長からは、「これまでの災害による被害を教訓とし、危機管理の重要性を広く啓発したい」と述べました。



点検後には発電機に点検確認ステッカーが貼られました



発電機の電源を入れる山浦会長

『どうぶんクニンギク』 体験を通して学ぶ

常田町一ソーネク耕作者部会（山内英之部会長）は8月18日・19日の2日間常呂中学校2年生を対象とした体験学習会を行いました。

▲山田瞬也職員が本町農業の説明と、
にんにくの播種から収穫までの流れについて説明を行い、2日目は生徒が各班に分かれ、部会員宅でにんにくの種割作業などを体験。作業中は、「にんにくの疑問を積極的に質問、休憩時間には黒にんにくの試食が行われ、ところどころピンクにんにくを深く学びました。体験学習を終えた生徒からは「常田町でにんじくが作られていることを知り農家さんの大変さも体験できた」と感想が述べられました。



● 種割作業を行う生徒の皆さん (中央奥は山内希さん)

JJAところ（川上和則組合長）は8月24日～28日の5日間、北海道農政事務所（札幌）職員の農業研修受入を行いました。

農家へ泊まり込み研修を行うことで農業の生産現場を知り、農業者の視点を理解できる職員を育成するために実施されました。

生産經營産業部事業支援課の成瀬友也職員が、当JJAの江田哲副組合長宅で玉葱の収穫や葉切作業に汗を流し

研修期間中には、JA玉葱選果施設で玉葱選別や常呂町産業振興公社で木タケ貝殻の石灰肥料製造を視察すると共に、JAでは農産物の海外輸出への取組や農産物輸送に係る課題について質問や意見交換を行いました。

研修を終えた成瀬職員は「今回の農業研修では貴重な経験をさせていただきました。生産現場のことを考え今後業務を行っていきたい」と話しました。

農政事務所職員、農業生産現場知る

共立会館で9月1日、25年前に共立地区開基100年を記念して埋設されたタイムカプセルの掘り起こしと開封式が行われました。

共立地区が開かれたのは1895年のこと。25年前の1995年に開基100年を迎え、当時の記念事業協賛会が100年を迎えた共立の姿を残そうとタイムカプセルを記念碑の後ろに埋めたそうです。

今回掘り起こされたタイムカプセルには、家族写真や「子息の結婚披露宴」のしおりのほか、当時の共立地区住民



25年前の思い出を閉じ

● 玉ねぎで一杯になった鉄コンヘシート掛けを行つ成瀬職員



上：掘り起こしは慎重に行われました
下：タイムカプセルの開封を楽しみに訪れた共立地区の皆さん

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修=JCA(日本協同組合連携機構)

つくる責任 つかう責任

世界の人々は大量の資源やエネルギーを使って多くのものを生産し、大量に消費して暮らしています。このような暮らしは、地球に大きな負担をかけることになります。SDGs(エスディージーズ、持続可能な開発目標)で掲げる17項目のうち目標12「つくる責任 つかう責任」では「持続可能な生産消費形態を確保する」ことを目指しています。

JAグループは「つくる責任」を果たすために、食の安全を確保し、高品質な農畜産物や加工品の安定供給に取り組んでいます。環境保全や農業現場で働く人の労働安全のためにも、生産履歴記帳の徹底や、農業生産工程管理(GAP)の推進をしています。また消費面では、日本で年間約612万トンある食品ロス(2017年度)の削減に向け、都市住民向けにマルシェ等を開いて規格外品の農産物を販売する他、各地のJA直売所等でも規格外品を販売したり食堂で活用したりしています。

SDGsに関連する主な取り組み

JGAP取得でルールの共有化(福島)

JA会津よつばの南郷トマト生産組合は2019年9月、31農場でJGAP※団体認証を取得しました。40年以上年間2000トン超の生産量を維持している「南郷トマト」を守るとともに、ベテラン農業者と新規就農者間の栽培から出荷までのルールの共有化等を目的としています。
※JGAP=日本版農業生産工程管理



JA全中「JAグループの活動報告書2019」をもとに作成

注目のことば ◎「エシカル消費」

「つくる責任 つかう責任」のテーマに沿う概念として、人や社会・環境に配慮した消費行動「エシカル消費(倫理的な消費)」があります。消費者がものを買うときにそれが作られる背景をしっかりと考える消費行動です。地産地消により地域活性化を促すことや、被災地の特産品を消費して経済復興を応援することもエシカル消費の一つです。近年、生協グループでも「つかう責任」としてエシカル消費の取り組みが進んでいます。

耕そう、大地と地域のみらい。



● ところピンクにんにくの大きさなどを調査

また、職員の方々や、農家実習をさせていただいた農家さんがとても優しく指導してくださいました。実習先の農家さんからは「期待しているよ」と、励ましの言葉も頂いたので、その期待を裏切らないようにこの先の学生生活を頑張っていきたいです。

山口 友海さん
(北見商業高校卒)

JAところを実習先に選んでよかったです。なぜなら、僕が働く上で大切だと思っている「職場の雰囲気」がとても良く、この職場でなら楽しく仕事をできそうだなと思ったからです。

JA力レッジ本科生の山口友海さんと吉川紘平さんが、8月17日から9月4日までの約3週間、当JAの事務作業や農作業などの実習を行いました。JAでは、管理課を始め、各課の業務や各施設の見学・体験を行いました。



● 収穫作業を体験!

J A力レッジでは学ぶことできない「職場内でのコミュニケーション」をまず初めに学びました。また、農家実習の際に改めて農業の大変さを学ぶことができました。JA力レッジに戻ってからも勉学に励み、この実習で得た経験を存分に発揮していきたいと思います。

吉川 紘平さん
(北見商業高校卒)

農業体験では、富丘地区の石澤彰理事と土佐地区的小原啓人監事の協力のもと、農作業に汗を流しました。実習生の2人は、学校では体験できないことをたくさん体験できたのではないかでしょうか。

J Aところの仕事を実習!

☆ところピンクにんにく☆を使った ペペロンチーノ♪



①材料(1人前)

パスタ…100g
オリーブオイル…40ml
ところピンクにんにく…1片
鷹の爪…1本
イタリアンパセリ
(生パセリ)…15g
カイエンペッパー…適量
塩…適量

②調理器具

フライパン
ブレンダー
(ミキサーでも可)
包丁
まな板
ターナー

◆作り方◆

- ①ところピンクにんにく1片を外皮と薄皮を剥き包丁の腹で軽く潰し芽を取る。
- ②①を沸騰したお湯で2分ほどボイルする。
- ③フライパンにオリーブオイルと鷹の爪、②でボイルしたにんにくを入れ弱火でじっくり加熱し鷹の爪の風味がオリーブオイルになじむまで炒める。にんにくの色が少し変わったら火を止め鷹の爪を取りフライパンごと濡らした布巾の上で粗熱を取る。
- ④パスタを茹ではじめる(茹で時間は袋の表示通りです)
- ⑤パスタを茹でている間にブレンダーのカップに③と塩を投入しオイルと同量のパスタのゆで汁も入れる。
- ⑥ブレンダーで具材を混ぜソースを乳化させ、イタリアンパセリを刻み同じくカップに入れブレンダーで更に混ぜる。
- ⑦茹で上がったパスタの水気を切り、ボウルに入れると⑥で作ったソースも同じボウルに入れ混ぜ合わせる。
- ⑧お皿に盛り付けカイエンペッパーをかけ完成です。

YouTubeで JAところ

Q 検索



第11回 JAところ収穫“菜”のご案内

とき 10月24日(土) 11時30分～13時00分

ところ 北見市常呂町スポーツセンター前「百年広場」

主催 JAところ

※新型コロナウイルス感染防止のため、例年と開催時間や内容が異なっております。
※詳細につきましては、後日チラシやHPでお知らせ致します。



第7回理事会報告 <8月21日開催>

- ◆会議体管理規程の一部変更について
- ◆災害対策規程の一部改正について
- ◆貸付金利率の設定について
- ◆教育ローンキャンペーン実施に伴う貸付金
利率の設定について
- ◆寄付金の支出について
- ◆固定資産の取得について
(計画外100万円以上 税別)
- ◆令和2年産でん粉原料馬鈴薯共同計算につ
いて
- ◆令和2年度共計澱粉の仮渡金について

- ◆報告事項
- ◆7月末仮決算報告について
- ◆内部監査報告について
- ◆令和2年度上半期余裕金運用実績について
- ◆JA共済コンプライアンス点検結果について
- ◆組合員の加入・脱退について
- ◆職員の退職について
- ◆道農協労連中央執行委員長の選出について
- ◆第2次オホーツク農業振興方策について
- ◆常呂町産業振興公社からの要請について
- ◆農業委員会開催報告

行事予定表

10月1日(木)~10月31日(土)

10月23日(金) 第9回定例理事会

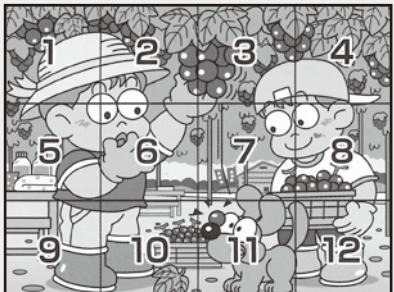
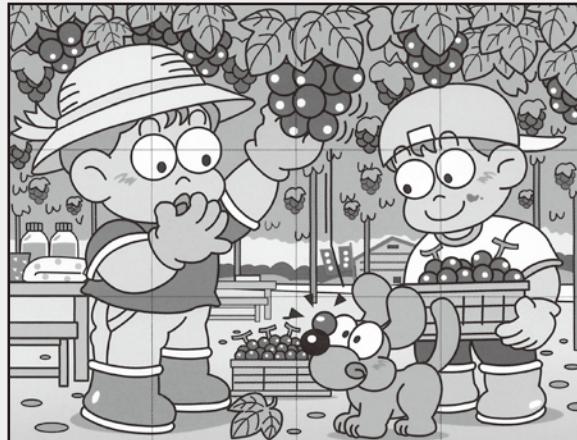
10月24日(土) 第11回JAところ収穫“菜”

10月25日(日) 農休日



まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所
あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で
探ししましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌
へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、防寒テムレスをプレゼントします。

先月の当選者・解答

9月号のクロスワードパズルの答えは「メイゲツ」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

今橋 丈さん (富丘) ※()内は地区名です。

読者の声

★毎月家族で楽しみにしています

(匿名希望)

★写真に誰が写っているか毎月楽しみに
しています

(匿名希望)

農業を担う青年たち

No.2

※今年度の新規就農者の皆さんを前月号から引き続きご紹介します。

豊川地区

高橋

ち さと

知里さん(25歳)

<父:金吾さん>

○最終学歴

山形大学工学部

○就農にあたっての抱負

今まで農業は父のもとで手伝い程度しかしていないので、いち早く農業に関する知識、仕事の流れ、農作物や畑に対する感覚を身に着けてていきたい。

○趣味

ボードゲームや脱出ゲームなど、頭を使い発想力を必要とするゲーム。ストレッチや柔軟もよく行います。



●色鮮やかな花火が夜空を彩りました



している催しが中止となつた
ま、ここ数十年頑張つてくれた
青年部を労い、富丘地区全体を
盛り上げたいという気持ちから
開催したいと思った」と話しました。

富丘花火部は8月31日、旧富丘小学校グラウンドで花火大会を開きました。富丘地区では、毎年この時期に青年部がビルパーティーを開いていましたが、今年はコロナウイルスで中止となつたため、コロナウイルスの収束と豊作を願い、関根隆博さん、尾角光弘さん、守屋徹さんらを中心とする富丘地区的有志者達が花火部を結成し、この度の花火大会が開かれました。部長の関根さんは「青年部が主催



**コロナウイルスの収束と
豊作を願つて** 富丘花火大会へ

編集後記

- 徐々に気温が下がり肌寒くなってきましたね。日が落ちるのも早くなり農作業事故などにはより一層気を付けなければなりません。
- 今月24日には新型コロナウイルス感染防止対策を実施の上、収穫“菜”が行われます。今回は飲食物の提供はありませんが常呂の秋の味覚をお買い求めにぜひ足をお運びください。

《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち

玉ねぎの選別作業を行う江田拳さん

今月の表紙は、豊川地区の江田拳さん(23)です。オニオンタッパーで選別を行っているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「農業者としてまだ未熟なので親や先輩方の意見や仕事をしている背中を見て、出来るだけ早く一人になれるよう努力していきたい」と農業へ対する真剣な思いを聞くことが出来ました。収穫作業でお忙しい中、撮影にご協力いただきありがとうございました。

